

3 退院患者の平均在院日数等

(1) 施設の種類・年齢階級別

平成23年9月中に退院した全国（宮城県、石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除く。）の推計患者について、在院日数の平均である平均在院日数を施設の種類別にみると、「病院」34.3日、「一般診療所」17.5日となっている（表9）。

年齢階級別にみると、年齢階級が上がるに従い退院患者の平均在院日数は長くなる傾向にある（図3、統計表11）。

表9 施設の種類の別みた退院患者の平均在院日数

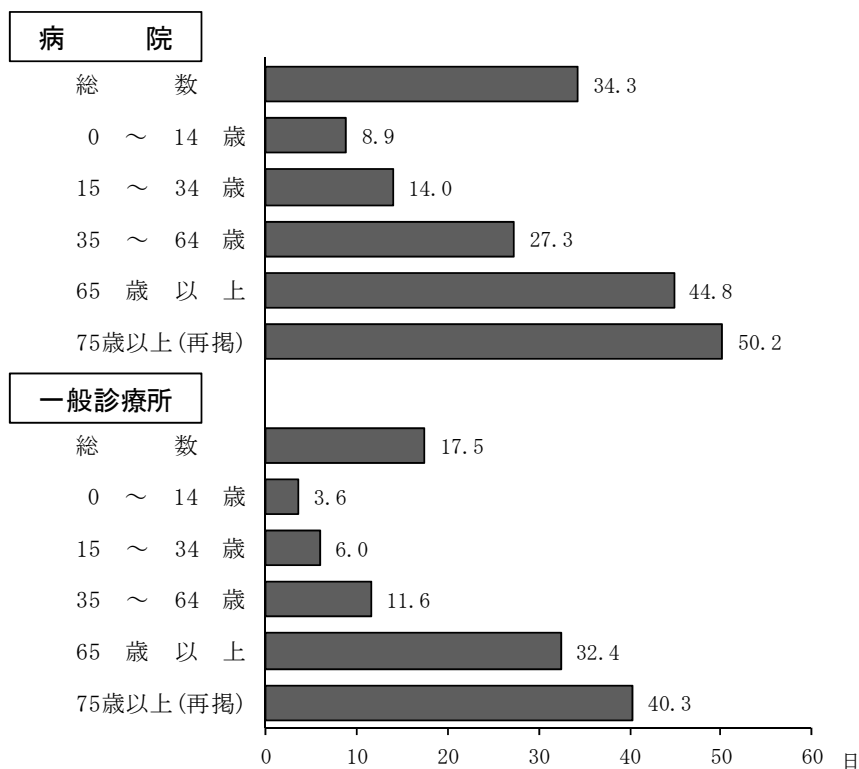
（単位：日） 平成23年9月

施設の種類の別	退院患者の平均在院日数
総数	32.8
病院	34.3
一般診療所	17.5

注：1）平成23年9月1日～30日に退院した者を対象としたものである。

2）宮城県、石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成20年の同地域を除いた数値は、34頁の参考表6に掲載している。

図3 年齢階級別にみた退院患者の平均在院日数



注：1）平成23年9月1日～30日に退院した者を対象としたものである。

2）宮城県、石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成20年の同地域を除いた数値は、35頁の参考表7に掲載している。

(2) 傷病分類別

退院患者の平均在院日数を傷病分類別にみると、長い順に「Ⅴ 精神及び行動の障害」296.1日、「Ⅵ 神経系の疾患」76.2日、「Ⅸ 循環器系の疾患」45.3日となっている（表10、統計表12）。

表10 傷病分類別にみた年齢階級別退院患者の平均在院日数

(単位：日)

平成23年9月

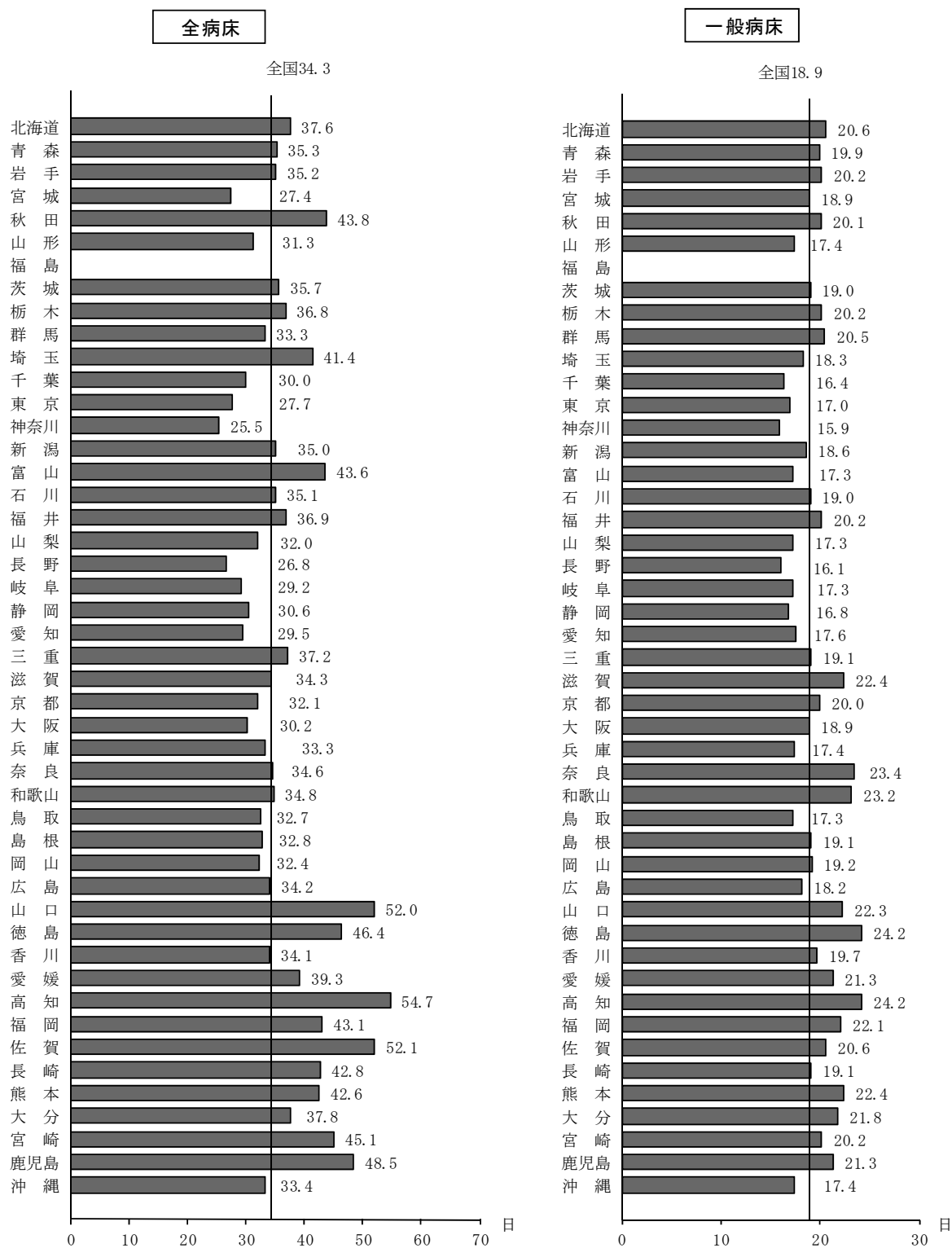
傷病分類	総数	男	女	0～14歳	15～34	35～64	65歳以上	70歳以上 (再掲)	75歳以上 (再掲)
総数	32.8	31.3	34.2	8.5	12.1	26.2	44.0	46.2	49.5
I 感染症及び寄生虫症	20.5	22.6	18.5	4.9	8.2	16.3	32.4	33.8	36.2
結核 (再掲)	65.4	69.7	58.9	11.9	44.8	62.9	68.9	70.6	72.5
ウイルス肝炎 (再掲)	15.4	16.3	14.3	6.1	12.7	12.8	21.6	22.0	26.4
II 新生物	19.5	19.5	19.6	19.7	15.7	15.1	22.4	23.8	26.5
胃の悪性新生物 (再掲)	22.6	21.2	26.0	18.6	13.3	16.2	25.3	26.6	29.7
結腸及び直腸の悪性新生物 (再掲)	17.5	15.0	21.1	11.2	13.6	12.3	20.4	22.9	27.2
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	18.6	17.5	21.2	30.1	17.1	16.3	19.2	19.8	21.0
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	21.7	20.8	23.9	26.9	11.6	19.5	22.7	24.0	25.9
乳房の悪性新生物 (再掲)	11.8	13.5	11.8	31.9	7.2	9.4	16.5	16.5	20.3
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	30.0	34.0	26.9	13.2	15.2	19.9	37.9	38.1	39.9
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	29.4	26.2	32.7	5.9	22.8	19.2	37.4	39.7	43.7
糖尿病 (再掲)	36.1	29.4	44.8	14.2	41.6	21.3	47.6	54.1	66.3
高脂血症 (再掲)	21.2	12.5	28.1	55.7	1.7	5.7	42.4	46.4	58.8
V 精神及び行動の障害	296.1	337.5	262.4	27.7	60.3	236.2	501.6	492.8	445.3
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	359.2	302.5	400.2	—	466.7	255.2	364.7	365.5	382.5
統合失調症、統合失調症型障害及び 妄想性障害 (再掲)	561.1	659.0	479.2	86.6	104.8	374.9	1 403.2	1 559.8	1 606.3
VI 神経系の疾患	76.2	63.8	90.9	17.9	31.6	55.8	105.4	112.0	122.9
アルツハイマー病 (再掲)	236.3	211.5	249.7	—	—	177.1	237.6	233.5	235.9
VII 眼及び付属器の疾患	5.3	5.6	5.0	3.9	11.5	5.9	5.0	4.7	4.7
VIII 耳及び乳様突起の疾患	8.2	7.4	8.7	4.8	9.3	7.2	9.4	9.9	11.3
IX 循環器系の疾患	45.3	34.4	59.8	15.1	18.4	23.3	53.5	58.1	66.3
高血圧性疾患 (再掲)	41.2	35.1	44.2	9.4	9.6	13.0	48.5	51.4	54.9
心疾患（高血圧性のものを除く） (再掲)	21.9	14.6	32.8	15.9	24.7	9.2	26.1	29.1	34.5
脳血管疾患 (再掲)	93.0	76.2	112.2	23.2	30.6	55.4	104.4	109.8	120.5
X 呼吸器系の疾患	26.5	24.2	29.5	5.3	7.7	16.4	41.7	42.7	44.2
喘息 (再掲)	12.7	8.9	17.2	4.8	5.4	9.2	40.4	44.4	51.7
X I 消化器系の疾患	12.9	11.7	14.5	4.9	7.7	10.5	15.8	16.9	18.7
う蝕 (再掲)	15.4	23.4	5.4	1.0	2.6	45.4	10.4	10.1	10.5
歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	4.0	4.0	4.0	2.3	2.2	4.7	6.5	3.7	3.3
食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	15.9	14.1	18.3	7.9	6.8	10.7	19.7	20.5	21.8
肝疾患 (再掲)	27.4	26.0	29.1	13.5	11.8	22.8	32.0	34.7	38.3
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	26.8	24.3	29.3	6.4	10.0	19.0	34.8	36.1	37.9
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	32.2	27.1	35.8	14.0	13.7	22.4	40.8	43.9	49.6
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	22.1	22.6	21.6	9.0	6.0	13.0	31.2	33.5	35.7
X V 妊娠、分娩及び産じょく	8.0	—	8.0	7.0	7.9	8.4	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	11.4	11.6	11.2	11.4	10.8	—	8.0	8.0	—
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	16.5	16.1	17.0	15.1	12.1	21.7	27.7	30.5	32.8
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	19.7	16.8	22.0	6.0	8.5	10.2	26.7	28.7	31.1
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	33.4	26.6	39.4	5.9	12.6	21.6	46.7	48.6	50.3
骨折 (再掲)	41.1	29.9	47.9	6.3	13.9	25.6	52.1	54.0	55.7
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7.4	5.7	8.3	5.6	5.8	5.0	17.2	19.7	22.6

注：1）平成23年9月1日～30日に退院した者を対象としたものである。
2）総数には、年齢不詳を含む。
3）宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(3) 都道府県別

病院の退院患者の平均在院日数を都道府県（施設所在地）別にみると、「高知」が54.7日と最も長く、「神奈川」が25.5日と最も短くなっている。一般病床では、「徳島」及び「高知」が24.2日と最も長く、「神奈川」が15.9日と最も短くなっている。（図4）

図4 都道府県（施設所在地）別にみた病院の退院患者の平均在院日数

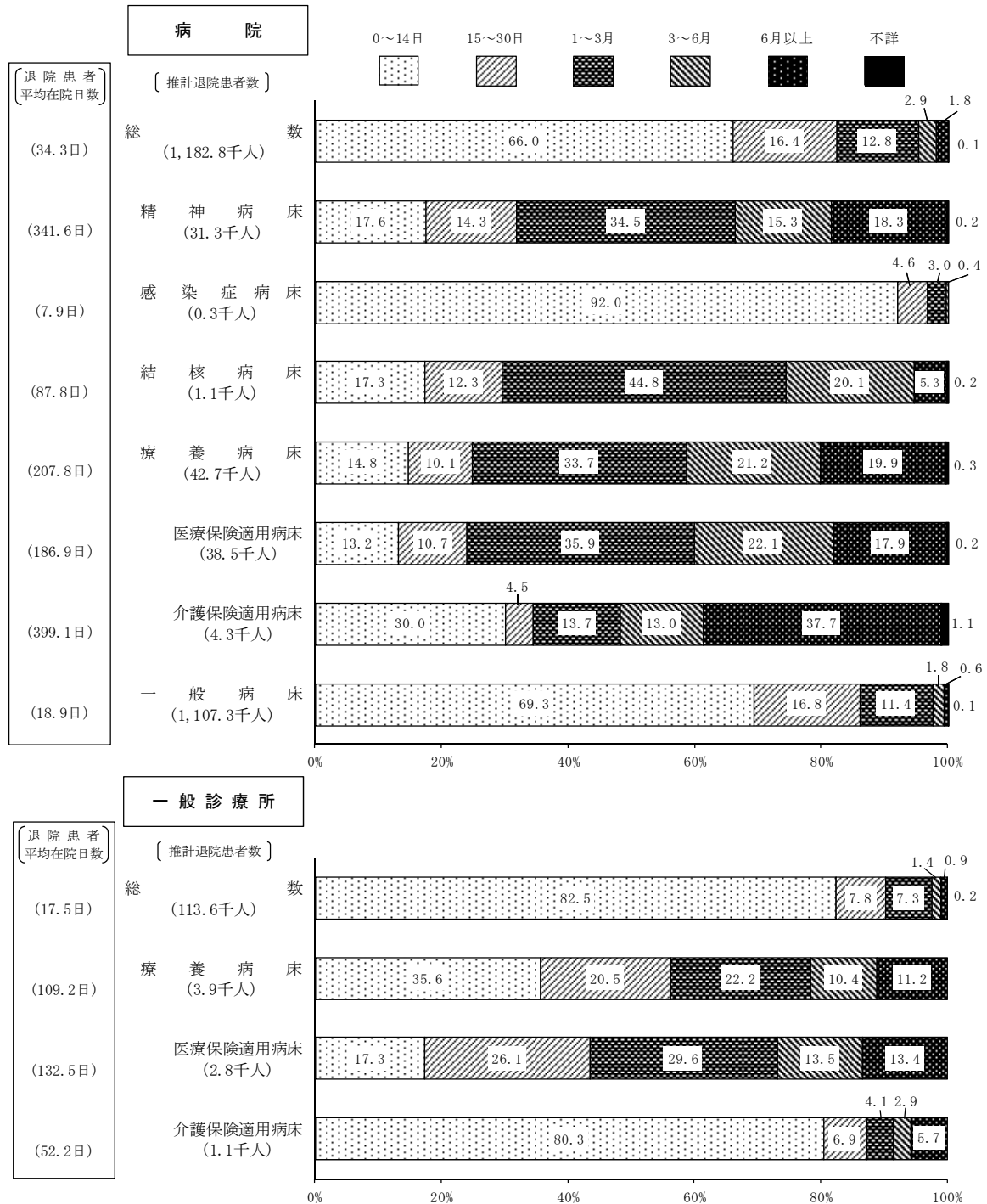


注：1）平成23年9月1日～30日に退院した者を対象としたものである。
2）宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(4) 病床の種類別

退院患者の在院期間別に推計退院患者数の構成割合をみると、病院は「0～14 日」が 66.0%、「15～30 日」16.4%、一般診療所は「0～14 日」が 82.5%、「15～30 日」7.8%となっている（図 5）。

図 5 病床の種類別にみた在院期間別の推計退院患者数の構成割合

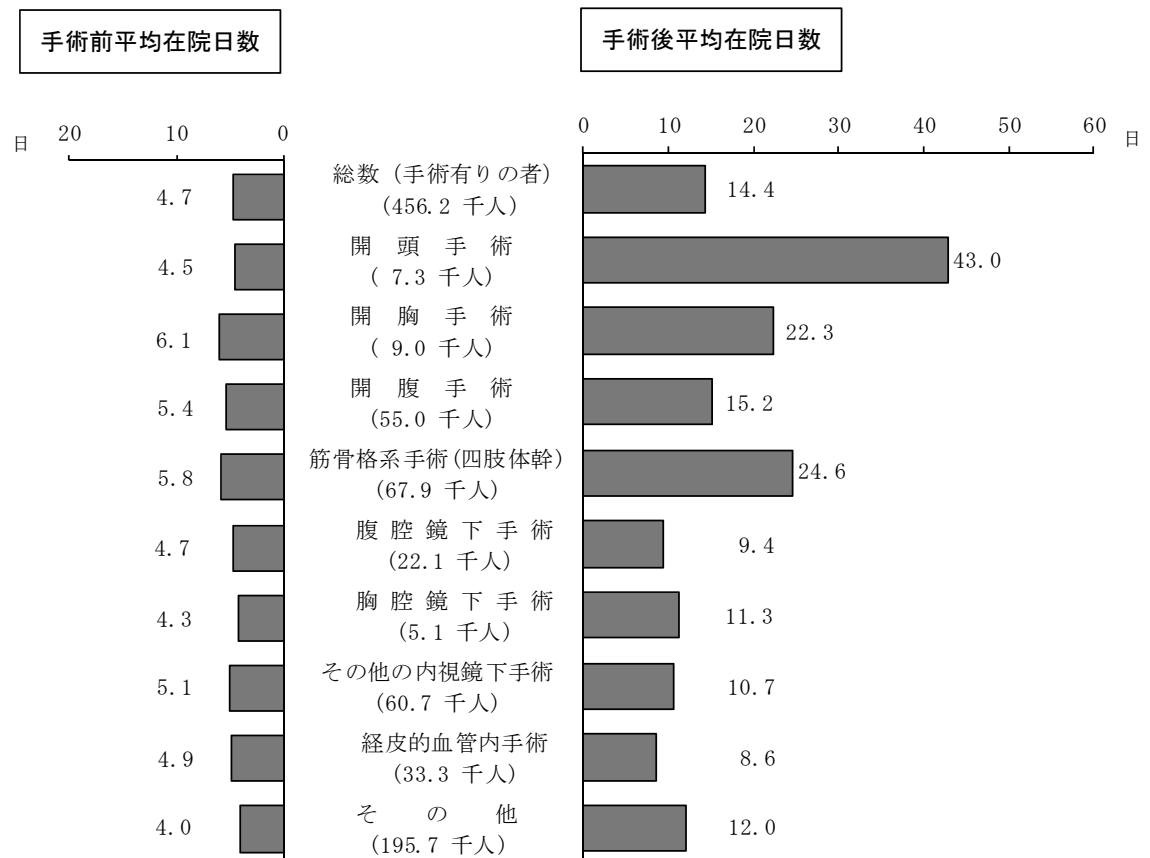


- 注：1）平成 23 年 9 月 1 日～30 日に退院した者を対象としたものである。
 2）病床の種類は退院時のものである。
 3）宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成 20 年の同地域を除いた「退院患者平均在院日数」の数値は、35 頁の参考表 8 に掲載している。

(5) 手術前平均在院日数・手術後平均在院日数

平成 23 年 9 月中に退院した患者のうち手術有りの者についてみると、手術前平均在院日数は 4.7 日であり、「開胸手術」 6.1 日が最も長く、「胸腔鏡下手術」 4.3 日が最も短くなっている。手術後平均在院日数は 14.4 日であり、「開頭手術」 43.0 日が最も長く、「経皮的血管内手術」 8.6 日が最も短くなっている（図 6）。

図 6 手術名別にみた手術前平均在院日数・手術後平均在院日数



- 注： 1) 平成 23 年 9 月 1 日～30 日に退院した者を対象としたものである。
 2) 「開頭手術」とは、頭蓋骨を広範囲に開窓する方法により行われる外科手術をいう。
 3) 「開胸手術」とは、胸壁を切開し胸腔に達する方法により行われる外科手術をいう。
 4) 「開腹手術」とは、腹壁を切開し腹腔に達する方法により行われる外科手術をいう。
 ただし、開胸開腹手術については開胸手術としている。
 5) 「筋骨格系手術」とは、四肢体幹を切開し、筋、腱、関節、骨、神経に達する方法により行われる外科手術をいう。
 6) 「腹腔鏡下手術」とは、腹腔鏡を用いた外科手術をいう（腹腔鏡下胆嚢摘除術、腹腔鏡下婦人科手術等）。
 7) 「胸腔鏡下手術」とは、胸腔鏡を用いた外科手術をいう（胸腔鏡下肺切除術、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術等）。
 8) 「その他の内視鏡下手術」とは、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術以外の内視鏡、ファイバースコープを用いた外科手術をいう。
 9) 「経皮的血管内手術」とは、不安定狭心症や閉塞性動脈硬化症に対してカテーテルを用いて行う血管内治療をいう。
 10) 「その他」とは、上記 2)～9) 以外の外科手術をいう。
 11) 宮城県、石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。